

# 市民と共につくる “うるおいのあるまちづくり”

## 緑ヶ丘第一町内会の「花いっぱい運動」取材しました！

毎年春と秋に市内の町内会・自治会等の協力により実施している“花いっぱい運動”。市民の皆さんのボランティア活動に支えられながら今年で29年目になります。5月26日(日)、昨年の春の「花いっぱい運動」で最優秀賞を受賞した緑ヶ丘第一町内会に話を伺ってきました。



昨年度の最優秀賞受賞の花壇！

### 花いっぱい運動の歴史

羽村の特徴の一つに「花」を生かしたまちづくりがあります。その中でも花いっぱい運動は昭和59年にスタートし、29年の歴史を誇る羽村伝統の市民活動の一つで、第一回の栄えある最優秀賞は間坂第一町内会でした。以来、毎年各町内会・自治会などの皆様には同時に行われる美化運動・花植えにご協力いただいております。その流れを今に引き継ぎ、見事昨年春の最優秀賞に輝いたのは緑ヶ丘第一町内会。今回は緑ヶ丘第一町内会の前町内会長の大槻さん、前副会長兼管理環境部長の森田さんに花いっぱい運動の様子や苦労する点などについて話を伺いました。

### 準備期間はどれくらいか？

常に新しいレイアウトを気に掛けながら、思いついたらメモするようになっています。本格的には1ヶ月前くらいから案を計画し始め、当日に備える。

### Q. どうすればスムーズに進められるのですか？

事前に管理環境部から出た多数の意見を2、3案にまとめ、会長、評議委員、部会に諮り最終的に1案に絞り込む。前日までに花壇の下準備を進め、レイアウトにあわせ、トレイに花を振り分けておく。当日はコーディネートする担当者が決まっているので、その指示に沿って花を植えていくことが肝心。当日集まった人が思い思いに始めてしまうと取捨がつかなくなるので、事前の準備や当日のコーディネートを決めておくことが大切。当日はその人の指示により行動する。

**Q. 工夫している点は特別にありますか？**

町内会に引き継がれている伝統的レイアウトがあるが、それをベースに工夫し

### その年の案を作る。



スタート前、コーディネーターからの説明!!

### Q. 苦労する点はどこですか？

準備・当日よりも夏場の雑草除去や水やり等の維持管理が大変。水やりは輪番で行っているが、それだけでは足りず、花が好きな人が自主的に雑草取りや水やりをしていて助かっている。あくまでも皆のボランティアに頼っている形。これも伝統的にやってきている人のおかげです。

### Q. 花いっぱい運動をどのように感じていますか？

きれいに植えられていると気持ちがいいし、まちがきれいになることがなにより。市外の人から羽村に入ると花がきれいなのですぐわかると言われると嬉しいし、昨年の最優秀賞は本当

### に嬉しかった。

### Q. 花いっぱい運動は町内会にとってどんな役割を果たしていると思いますか？

日頃顔を合わせない人とも交流が図れるので輪が広がる。いい目標にもなり、町内会に元気を与えてくれる行事の一つ。以前、花いっぱい運動で余った花を長寿会の皆さんが近くの公園に植えてくれた。それがきっかけで毎年その公園に植えてくれるようになり、花を通じて長寿会と交流・連携が取れたことは非常に有意義なことだと考えている。これからも町内会のいろいろな輪を広げていきたいと考えている。



今年度の花植えの様子！結果は？

—これからも町内会等の輪が広がることに期待します。—